

（「地域情報化大賞」奨励賞 受賞）

社会資源プラットフォーム ミルモシリーズ （株式会社ウェルモ）

〔事業概要〕

■背景と目的

福岡市には2,100の介護事業所がありますが、介護サービス情報の可視化がされておらず、紙や口頭による不十分な意見決定によって利用者が最適な介護を選択をできていない、という課題がありました。一人ひとりに合わせた介護事業所選び、所謂介護保険上の「利用者本位」を実現するために、介護サービス情報の可視化をすることを目的として、ミルモシリーズのサービスを開始いたしました。

■ミルモシリーズとは

ミルモシリーズは、ミルモタブレット・ミルモプロという2種類のサービスから成り立ちます。

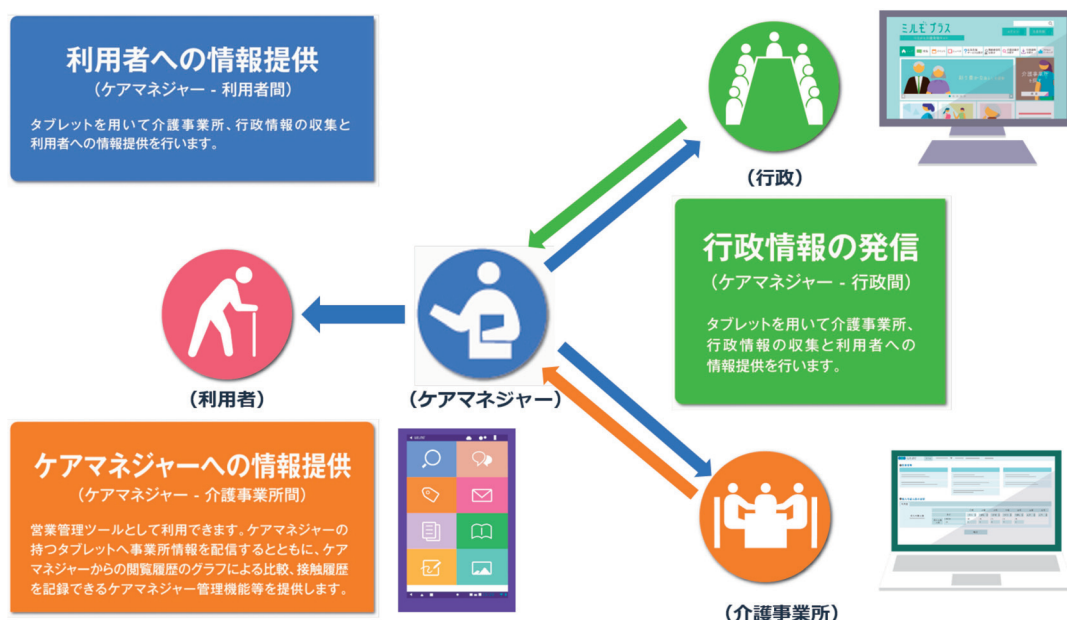
ミルモタブレットは、ケアマネジャーに利用していただく、地域の介護事業所、介護サービスの情報が詰まったタブレットです。今まで、ケアマネジャーは紙のパンフレットをもち、新しい情報が入るたびに紙を差し替え、数キログラムにまで及ぶ資料を携帯する必要がありましたが、ミルモタブレットを活用することで、その煩わしさから解放されます。また、利用者の方にも最新の情報を元にした、適切で正確性の高い情報にてケアプランを提案することができます。

ミルモプロは、介護事業所向けのサービスです。介護事業所のデータを入力することで、その情報をミルモタブレットに反映するので、いつでも正確な情報をケアマネジャーおよび利用者にお伝えすることができます。またケアマネジャーの行動分析を行うことができます。

ミルモシリーズにより、利用者・ケアマネジャー・介護事業所を、最適な情報でつなぐことが可能になります。

〔コラム〕

① サービスイメージやシステム構成



② 事業展開による効果・成果

■課題

利用者が介護事業所を探そうとするときに、最適な事業所を選ぶことができないという点で、以下の2点が大きな課題となります。

・介護事業所観点

まとまった介護事業所情報が分かりやすく公開されている場所がないため、比較検討の行動をとることが困難になっています。利用者の方は、自ら情報を収集することができないため、介護事業所の候補としてはケアマネジャーから推奨されるものを信じて動くことになります。

・ケアマネジャー観点

まとまった情報をもっていないのは、ケアマネジャーにも共通の課題です。ケアマネジャーには、情報が集約されますが、基本的には紙媒体の情報になり、最適なものを出すことができるかに対して恣意性・属人性を排除することができません。

この課題を解決するために、ケアマネジャーに介護事業所の最新のデータを一元的に提供するものとして、弊社は情報集約にITを活用したミルモシリーズのサービスを開始いたしました。

■効果・成果

以上の事業所から利用者が望む介護サービスを見つけられることができました。福岡市内7区でのミルモプロの介護事業所普及率はおよそ27%に達し、ミルモタブレットは包括支援センターでのシェア94.9%、ケアマネジャーのシェア65.8%を達成しました。これにより、今までは紙情報でしか把握できず、すでに取引のある数か所の事業所しか紹介することができなかったケアマネジャーがおよそ561の事業所から選ぶことができました。また、現時点でのシステムの

改善点なども把握することができ、これを踏まえたさらなるシステムの改善を加え、福岡市をはじめとした他自治体に対して導入するシステムの土台を築くことができました。

加えて多くのメディアに取り上げていただいたことにより、他自治体からも引き合いが有り、当初福岡市に導入する際に必要になった営業コストよりも比較的に低いコストで各自治体の介護事業所に対してシステムを導入する基礎を築きました。

③ 事業展開のポイント

独創性・先進性

ミルモシリーズは従来の介護分野のオープンデータ（介護事業所番号、名称、住所等）に加え、介護事業所が提供するサービスを110項目に及ぶ詳細な情報として独自のクラウドシステムにより追加することで可視化して参りました。過去、福岡県を含む様々な自治体が介護事業所のサービス内容の可視化に挑戦されましたが、介護事業所に対するサービス情報の更新における動機形成に失敗し、更新がなされないという課題が生じていました。その課題を解決し、多数の事業所の詳細情報をリアルタイムで入手出来ているところに特徴があります。

また、これらのサービス情報と稼働率などの今までデータベース化されていなかった情報を一元的にクラウドベースで管理することで、データを分析・加工した統計分析の結果を、有意な統計情報として、金融機関・各自治体・そのほかヘルスケア系企業などに提供し、介護分野の全体最適を目指しております。

横展開

福岡市では市内7区対象介護事業所で27%のシェア、また市内ケアマネジャーへのシェア65.8%、地域包括支援センターでのシェアは94.9%に達しています。介護事業所シェアの27%は月額課金制でのシェア率ですが、次期モデルでは、今までシステムを使っていた出てきた課題点・改善点を修正し、システムを再開発、新しいバージョンのシステムをフリーミアムモデル（無償化モデル）で普及させることにより、さらに高いシェア率で使用されることが想定されます。これにより低コストで市民の介護福祉情報のインフラとして活用いただけるよう事業計画を策定しています。現在、各都市の地方自治体様よりミルモシリーズの導入を検討いただいています。

効果的なICT利活用

高齢者の自宅へ移動し介護保険に関するアセスメントからモニタリングを担う介護支援専門員（ケアマネジャー）という職業柄移動が多く、10.1インチのタブレット端末は、携帯性、情報の視認性、介護保険点数計算・自費も含めた利用金額算出の正確性、紙では持ち運べない情報量がメリットとなり介護保険を利用している市民への情報提供に適しています。

また情報源となるクラウドベースの介護事業所情報発信・分析を行うミルモプロにおいては、空室状況の更新や、細やかな専門職向けの項目収集、アナログの温度感にしか測れなかった介護支援専門員（ケアマネジャー）の行動分析による営業状況可視化等を機種依存の少ないクラウドによるサービス提供を行うことで低コストかつ上記メリットの提供が可能となっています。

そして、最終的には上記2種類のシステムを使うことにより今までアナログで人の頭や口頭を介して行われていた介護業界の事業所選定・介護サービス選定における意思決定に関する日々のログデータが取得可能となります。これは今まで業界の専門職の誰に尋ねても回答を得ることが出来なかった介護サービスの可視化を可能にしています。

住民等との連携・協力

福岡市保健福祉局、糟屋郡粕屋町役場と介護保険領域の制度冊子情報における電子データ化を行った上で、介護支援専門員（ケアマネジャー）への電子データの提供、広報物データの提供を弊社提供の専用タブレットを用い無償で行いました。

介護支援専門員（ケアマネジャー）の電子データにおける行政が発信する制度情報のニーズ調査並びに電子データ選定については弊社で各介護支援専門員（ケアマネジャー）へインタビュー、アンケートを通し調査した結果を基に行っております。

2014年度には福岡市内7区に存在するいきいきセンターふくおか（福岡市地域包括支援センター）では94.9%上記のタブレットが導入され、介護保険に関する地域に根差した相談窓口を通し市民への情報提供が行われました。

波及効果やメディア露出

上記のシステム導入率に加え雇用の創出については、代表含め福岡出身者以外のメンバーにて構成されており、福岡にてまず14名の雇用を創出し、今後も地域根差した支店展開型モデルの為、ファンドによる投資を用いて各地域にて雇用を引き続き創出させて行く計画となっています。

メディアについては、NHKクロズアップ現代、サキどり、日経新聞全国版等に露出し一定の知名度を得ています。

また、横浜市様や神戸市様よりオープンデータの先進事例等にてご紹介いただき多数登壇しております。

【今後の課題と展開】

質の高いケアプラン提供に向けて

これまで弊社は福岡市を中心として、介護事業所の情報をケアマネジャーに提供し、介護サービス情報の見える化・透明化による歪みのない競争市場化の促進を行い客観的かつ質の高いケアプランを提供の支援に尽力をして参りました。今後の事業も、地域の方々が質の高い介護を受けられるようなケアプラン提供に貢献するという方向性は変わりません。その為に進めておりますのが、ケアマネジャーの恣意性・属人性をなくして客観的なケアプランを作成するための、ミルモプラットフォームのデータベース解析です。今後もウェルモは、当データベースの質と量に磨きをかけ、ITを活用することで地域の方々が質の高い介護を受けられるように尽力して参ります。

〔導入費・維持費〕

- ・導入費用 23,000千円（人口150万人都市）
- ・維持費用 0千円／年間

〔問い合わせ先〕

- ・団体 株式会社ウェルモ
〒812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東1-17-1
福岡県福岡東総合庁舎 4F
- ・担当部署名：経営企画室 深井
- ・電話番号／FAX番号：092-477-7011／092-477-7012
- ・e-mail：fukai_r(at)welmo.co.jp
※実際にメールを利用される場合には（at）を@に置換えてください。